

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	8.社会体育振興費		
項	6.保健体育費	細事業名	5.スポーツ活動支援費		
目	1.保健体育総務費	担当課・係	スポーツ振興課 (執行課: スポーツ振興課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,315	要 求									1,315
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/スポーツシーンのあるまちづくり/スポーツ活動を行う市民や団体に対し								
	[スポーツ団体への支援に関する業務]	施策体系コード	03-06-01-30-10			事業番号	16-1				
	スポーツ団体を育成するため、財政的側面等から各種団体を支援します。また、各種団体が参加できる交流会、講習会を開催することにより、青少年の健全育成、および指導者の育成を図り、多様化・専門化してきている市民ニーズに対応します。	総事業費	4,923千円				事業期間	平成18年度～平成22年度			
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度				
			1,501	210	1,501	210	1,501				
		(事業実施に関する根拠法令) スポーツ振興法									

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 印旛郡市民体育大会の競技開催(20年度印東地区開催=酒々井町、富里市、四街道市、佐倉市、八街市)、選手派遣にかかる消耗品、備品、委託料等の費用である。	(事業の目的) 組織の拡充と競技力の向上を図る。	(事業の効果) 市民大会にとどまらず、レベルの高い郡市民体育大会、県民体育大会に選手・役員を派遣することで、より一層の競技力向上を図ることが出来る。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 郡市民体育大会の開催は、東地区、西地区交互に開催され、平成20年度は酒々井町を主会場とした佐倉市を含む東地区で開催される。 なお、佐倉市では野球、テニス、卓球、空手道競技が開催されることから、選手・役員派遣費等とあわせて予算化した。	(見積についての特記事項)